



並木中等story

令和4年2月9日号

何を言うかより何をするか

私は子どもの頃に、「口から生まれてきたのではないか。」と言われたくらい、おしゃべりな子どもでした。当然、理屈をこねて友達を言い負かして喜んでいた“悪ガキ”でもありました。言い訳も上手だったと思います。理由をつけて叱られるのを避けていました。小学4年生の時、そのような私に当時の担任の先生が「何を言うかより、何をするかが大切なんだよ。」と諭してくれました。言われた時は、すぐには理解できませんでしたが、後で、反省することになりました。



この言葉は今になっても、時々思い出します。偉そうな言葉を話した後で、“自分自身は行動で示せてるのか？”と自問自答してみると、恥ずかしい気分になったりしています。今の世の中を見ても、偉そうな事を言っている人、批判だけを言っている人はたくさんいます。私にはそのような人より、一生懸命“何かに取り組んでいる人”の方がかっこよく見えます。皆さんはどうでしょうか。

《祝！いばらきドリームパス敢闘賞受賞！》

令和3年度いばらきドリームパスファイナリストプレゼンテーション（県教育委員会主催）で、4年次の菅原さんの作品「古文直訳システムの開発が敢闘賞を受賞しました。おめでとうございます。